

朝
の
し
め
り
。

智恵子は東京に空がないといふ。
ほんとの空が見たいといふ。
私は驚いて空を見る。

桜若葉の間に在るのは、
切っても切れない
おかしなじみのきれいな空だ。

どんよりけおる地平のぼかしは
うすもも色の朝のしめりだ。
智恵子は遠くを見ながらいふ。

阿多々羅山の山の上に
毎日出ている青い空が
智恵子はほんとの空だといふ。

あとけない空の話である。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
0123456789:々※予!"#\$%&=>?@/#~